

# 新型コロナウイルス感染症流行下の 日本人旅行者の動向（その3）

～JTBF旅行実態調査結果より～

2020年6月22日

公益財団法人日本交通公社  
観光地域研究部 市場調査チーム

# 調査概要

調査名 : JTBF旅行実態調査【全体調査】  
調査対象 : 全国16～79歳の男女（調査会社のパネルより抽出）  
調査方法 : ウェブ調査  
調査期間 : 2020年5月1日～5月11日  
標本の大きさ : 50,000人

回答者属性 :

年齢 (歳)	男性								女性								合計
	16-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	計	16-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	計	
標本の 大きさ (人)	783	2,473	3,873	6,481	4,555	3,978	3,729	25,872	801	2,667	3,801	5,575	4,501	3,943	2,840	24,128	50,000
構成比 (%)	1.6	4.9	7.7	13.0	9.1	8.0	7.5	51.7	1.6	5.3	7.6	11.2	9.0	7.9	5.7	48.3	100.0

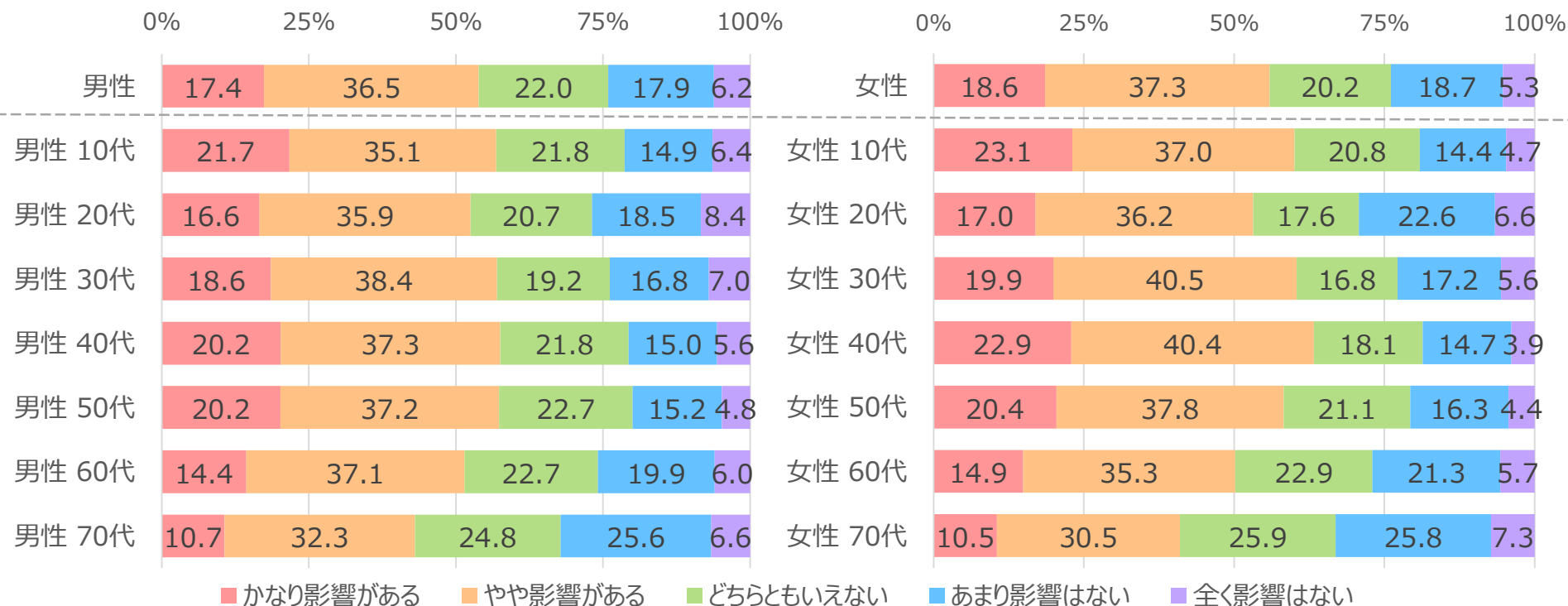
# 調査結果

<b>(仮説) コロナ禍において旅行の実施に影響をもたらす2つの要因</b>	…	<b>p.4</b>
(1) 家計に関すること	…	p.4
(2) 心理面に関すること	…	p.5
<b>1. この先（4～6月）の旅行予定</b>	…	<b>p.7</b>
(1) 家計の影響	…	p.9
(2) 心理面の影響	…	p.10
<b>2. 新型コロナウイルス収束後の旅行意向</b>	…	<b>p.12</b>
(1) 家計の影響	…	p.14
(2) 心理面の影響	…	p.15

## 新型コロナによる家計への影響 年代による差が浮き彫りに

- 新型コロナウイルスによる家計への影響を性別にみると、男女ともに「やや影響がある」が最も高い割合を占めました。「かなり影響がある」とあわせると、半数以上に家計への影響があったこととなります。
- 年代別にみると、20代から70代にかけて「影響がある（かなり影響がある+やや影響がある）」と答えた割合は山型となっており、特に40代に対する家計への影響が最も大きいことがわかります。「影響はない（あまり影響はない+全く影響はない）」と答えた割合が最も高いのは70代で、男女ともに3割を超えました。

### Q. 新型コロナウイルスの流行によって、家計への影響はありますか。（性・年代別）

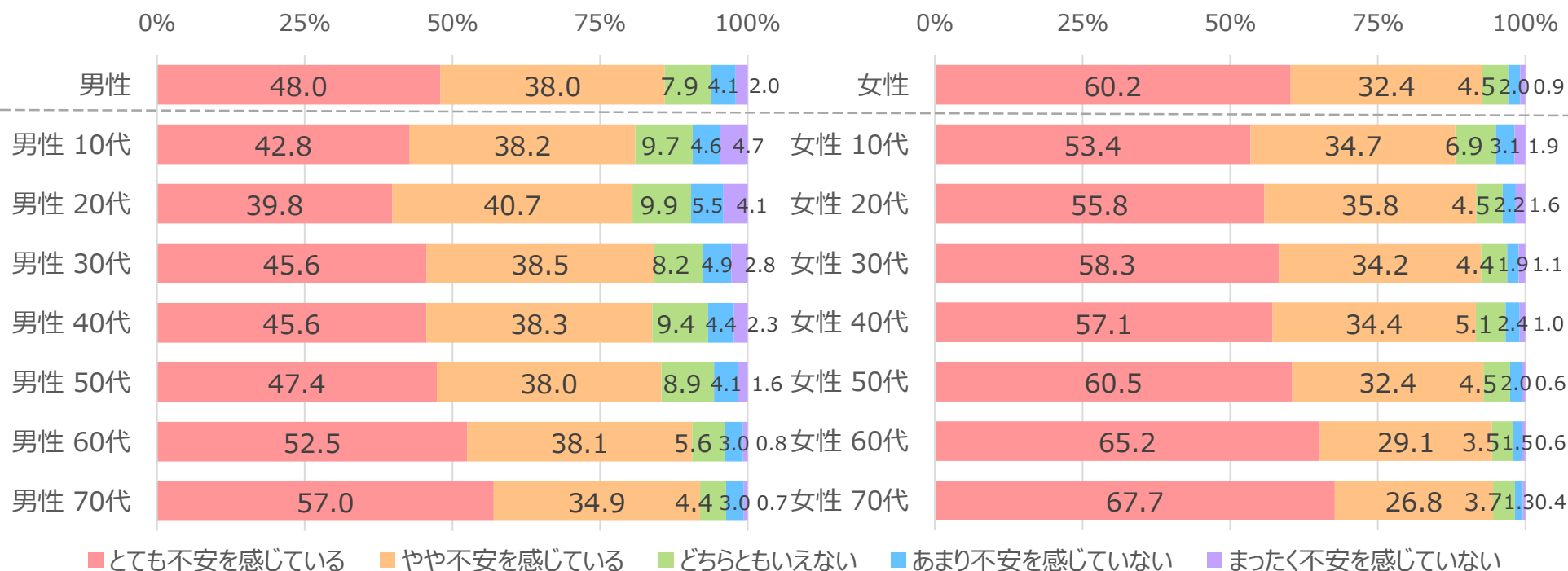


■ かなり影響がある ■ やや影響がある ■ どちらともいえない ■ あまり影響はない ■ 全く影響はない

## 新型コロナへの不安 男性より女性、若年層より高齢層で大

- 新型コロナウイルスの流行に対する不安の度合いを性別にみると、女性のほうが「とても不安を感じている」と答えた割合が1割以上高く、より強い不安を感じていることがわかります。
- また、男女ともに年代が上がるにつれ、「不安を感じている（とても不安を感じている+やや不安を感じている）」と答えた割合が高くなる傾向にあります。

Q. 新型コロナウイルスの流行について、不安を感じていますか。(性・年代別)



# どの年代も「自分や家族の感染」「長期化」などに対する不安大

- 新型コロナウイルスの流行でどのような不安を感じているかを尋ねたところ、どの年代においても「自分や家族の感染」が最も高い割合を占めており、「長期化・先が見えないこと」「日本経済の低迷」「医療の崩壊」と続きます。これらの不安は、年代が上がるにつれ高くなる傾向にあります。
- 30～40代は「家計の困窮」「身の回りの社会経済の低迷」など身の回りの生活環境への不安が他年代に比べて高くなっています。高齢者ほど「日本経済の低迷」「世界経済の低迷」などの社会全般の動向を不安視しています。

## Q. 新型コロナウイルスの流行について、どのような不安を感じていますか。(不安を感じている人のみ)【複数回答】(性・年代別)

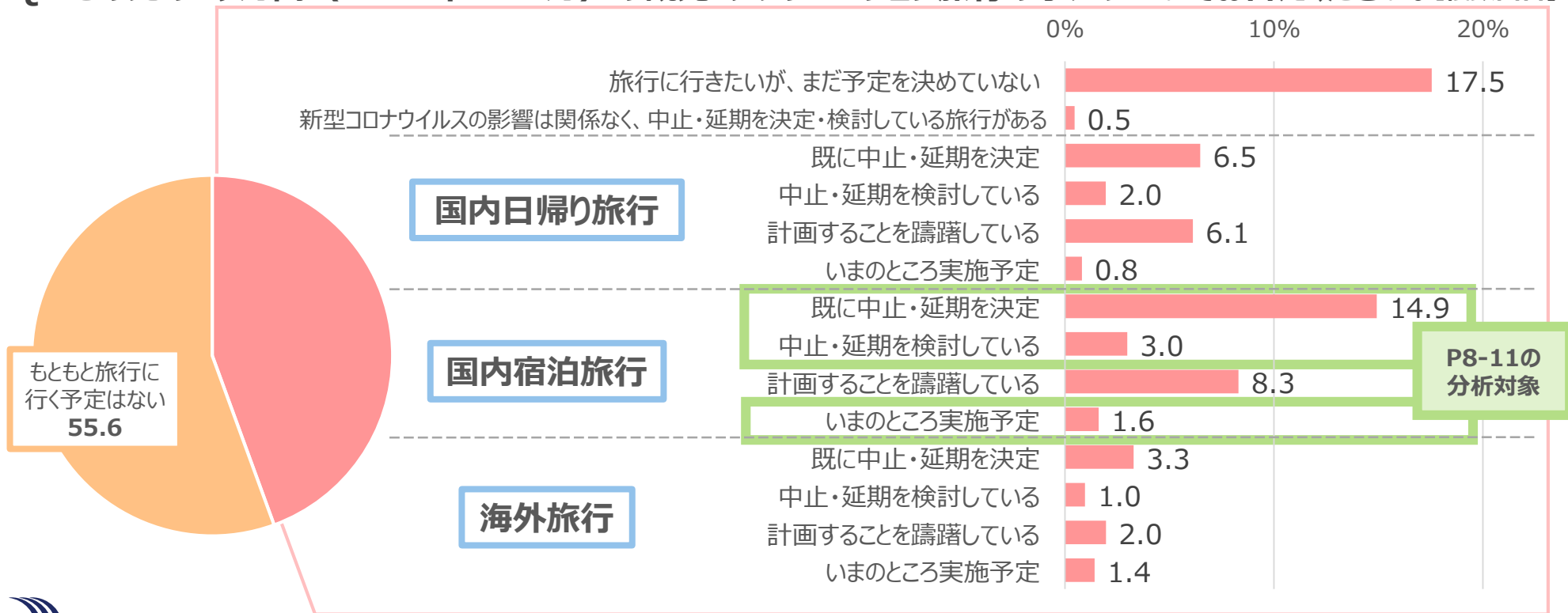
	感 自 分 や 家 族 の 感 染	見 え 期 な い ・ 先 が	迷 日 本 経 済 の 低	医 療 の 崩 壊	態 今 後 の 変 容	外 出 自 粛 な ど	迷 世 界 経 済 の 低	の 減 少 や 失 業 な ど に よ る 家 計 の 困 窮	自 分 や 家 族 の 収 入 の 低 減	迷 会 身 の 経 済 の 低	の 必 要 な 日 用 品 の 困 難	行 政 の 対 応	透 明 な 時 期 が 不 明	再 開 や 学 校 の 衰 退	観 光 地 の 衰 退	政 治 の あり 方	の 社 会 の 価 値 観	立 社 会 か ら の 孤 独	自 分 や 家 族 の 喪 失	の 生 き る こ と	そ の 他
全体	92.6	71.2	56.0	55.0	47.0	40.5	37.8	37.2	32.7	30.0	28.9	26.7	26.5	14.2	8.0	7.7	1.1				
男性	10代	82.5	57.7	46.2	38.0	42.6	30.9	40.4	27.6	35.8	28.1	53.2	21.6	21.6	12.1	10.7	11.8	1.7			
	20代	87.5	63.3	54.7	41.1	44.9	38.7	45.3	34.4	36.6	22.7	26.8	25.4	18.8	16.1	10.0	10.3	1.2			
	30代	91.7	66.6	57.2	46.7	46.4	42.5	45.2	38.6	37.1	27.3	30.5	27.7	23.3	15.5	9.1	8.3	0.6			
	40代	92.1	64.8	55.5	45.7	42.9	41.9	43.9	35.8	33.9	25.8	35.9	26.2	23.7	14.3	7.8	7.2	1.1			
	50代	91.5	66.4	56.2	48.7	41.7	41.0	38.4	36.9	29.8	26.5	25.1	25.2	23.9	15.2	6.4	6.2	1.0			
	60代	92.2	67.5	55.9	54.1	38.9	40.6	24.9	30.9	23.1	27.4	16.5	27.6	27.6	13.2	6.2	4.6	0.8			
	70代	94.0	71.5	58.5	59.7	40.3	44.1	13.6	31.3	20.9	31.2	13.1	26.3	32.8	13.4	6.2	4.2	0.6			
女性	10代	88.0	69.7	41.2	46.3	52.4	26.5	48.4	30.3	37.4	24.9	61.6	18.6	21.8	10.8	10.5	14.4	1.3			
	20代	93.9	76.6	50.0	54.4	57.7	33.0	46.8	36.1	41.6	26.3	28.6	25.8	20.7	11.7	10.6	9.9	1.2			
	30代	95.3	76.8	52.4	59.5	59.0	35.7	49.4	40.3	44.9	32.1	40.0	27.9	26.0	12.9	10.8	8.7	1.6			
	40代	94.6	74.8	54.4	58.5	51.2	38.3	48.1	39.6	38.6	31.9	44.6	26.7	25.0	12.8	8.5	7.9	1.2			
	50代	93.8	76.4	57.4	61.9	49.5	41.1	44.2	41.4	34.3	33.9	26.3	27.2	28.9	15.0	7.7	8.3	1.5			
	60代	93.5	76.3	62.2	65.4	47.6	44.4	27.0	41.7	26.8	35.9	18.6	28.8	32.8	15.9	6.5	8.0	1.0			
	70代	91.7	77.0	62.5	66.9	47.1	47.8	17.2	40.2	22.4	38.5	17.4	27.5	34.5	16.6	6.4	8.2	0.8			

# 4～6月の宿泊観光旅行実施予定率は国内・海外ともに1%台に留まる

- 4月から6月までの旅行予定について尋ねたところ、国内日帰り・国内宿泊・海外旅行とも、「いまのところ実施予定」という回答は1%程度に留まりました。「旅行に行きたいが、まだ予定を決めていない」と旅行実施意向を示す回答は2割程度になっています。
- 国内宿泊旅行では、「既に中止・延期を決定」が約15%を占めました。また、「いまのところ実施予定」は1.6%でした。

※本調査は5月上旬に実施しています。

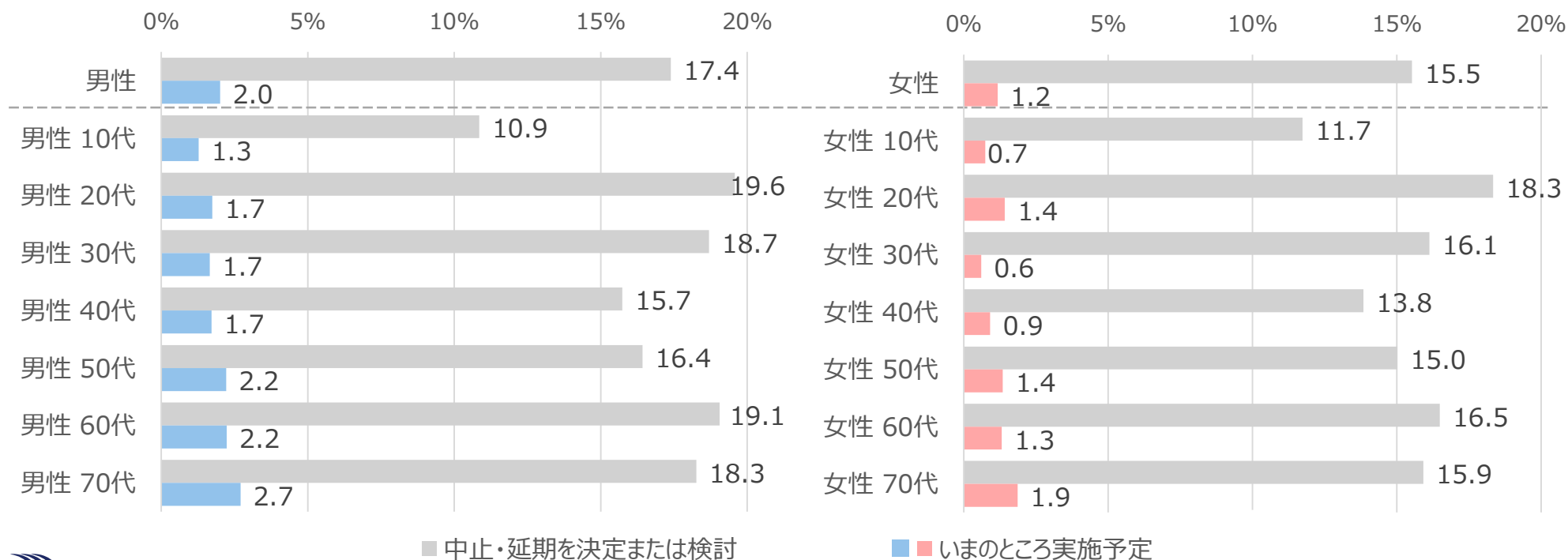
## Q. この先の3ヶ月間（2020年4～6月）の観光・レクリエーション旅行の予定についてお答えください。【複数回答】



## 4～6月の国内宿泊観光旅行 性・年代別に若干の差

- 4～6月の国内宿泊観光旅行の予定状況を性・年代別にみると、全ての年代において、女性よりも男性のほうが、「中止・延期を決定または検討」とともに「いまのところ実施予定」の割合も高く、旅行を具体的に計画している比率が高いことがわかります。
- また、このような傾向は、とりわけ男性50代以上に顕著にみられます。

4～6月の国内宿泊観光旅行の予定状況（性・年代別）

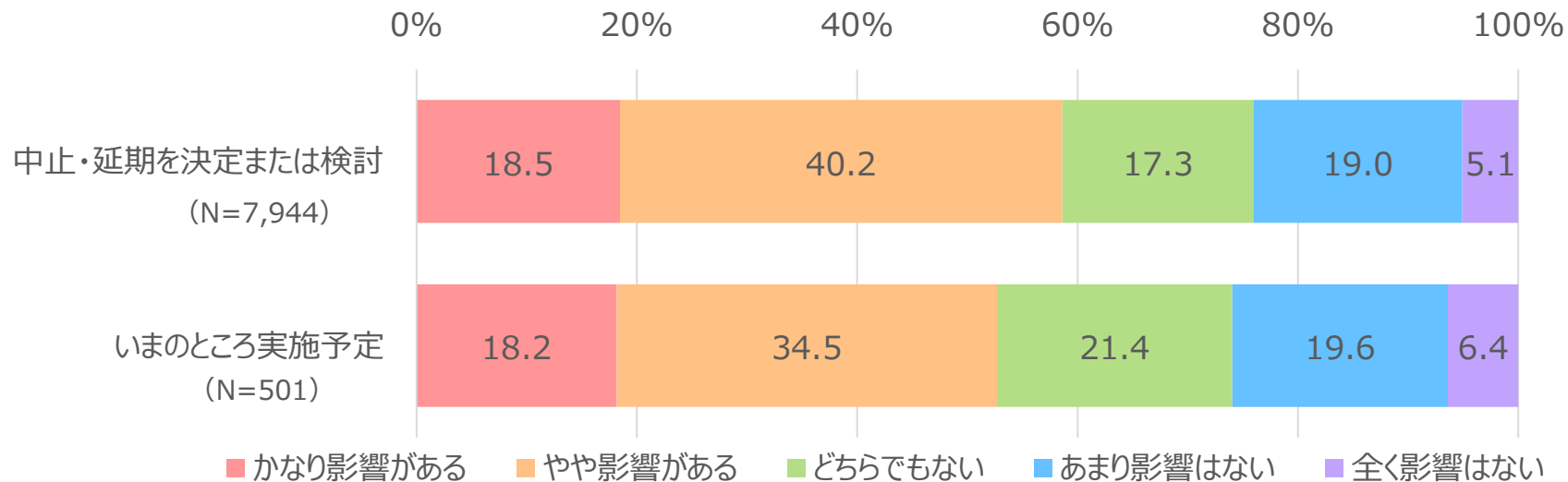




## 4～6月国内宿泊観光旅行の実施に家計の状況は関連なし

- 4～6月の国内宿泊観光旅行を“中止・延期した層”と“実施予定の層”とで家計への影響度に差があるのかを確認したところ、統計的に有意差がみられませんでした（\* $p>0.05$ ）。
- このことから、4～6月の国内宿泊観光旅行の実施には家計の状況は関連していないことがわかりました。

### 4～6月の国内宿泊観光旅行の予定状況別にみた 新型コロナウイルスに対する家計への影響度



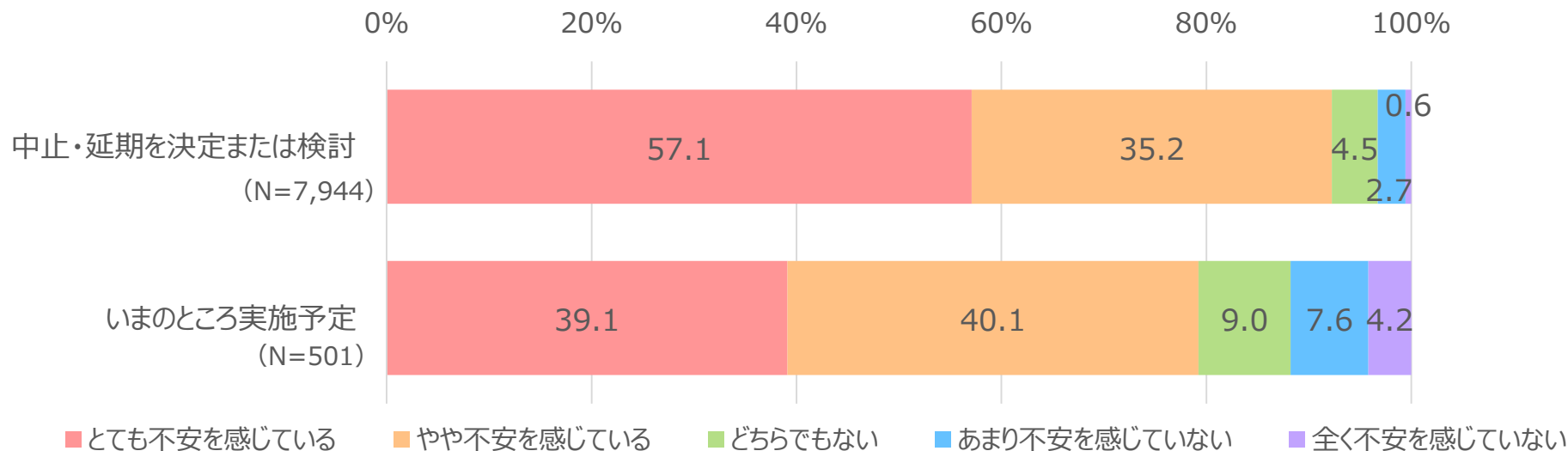
\*家計への影響度を得点化し（1：かなり影響がある、2：やや影響がある、3：どちらでもない、4：あまり影響はない、5：全く影響はない）、検定を行った。

※ここでは、「新型コロナウイルスの影響により国内宿泊旅行を中止・延期を決定または検討している」と「いまのところ実施予定」のいずれか1つを選択した回答者を分析対象とした（重複回答は対象外）。

# 4～6月の旅行予定 実施予定より中止・延期した人のほうが大きな不安

- 4～6月の国内宿泊観光旅行を“中止・延期した層”と“実施予定の層”とで不安度に差があるのかを確認したところ、統計的に有意差がみられました (\*p<0.05)。
- このことから、4～6月の国内宿泊観光旅行の実施にはコロナ禍に対する不安が影響していることがわかります。

4～6月の国内宿泊観光旅行の予定状況別にみた  
新型コロナウイルスに対する不安度



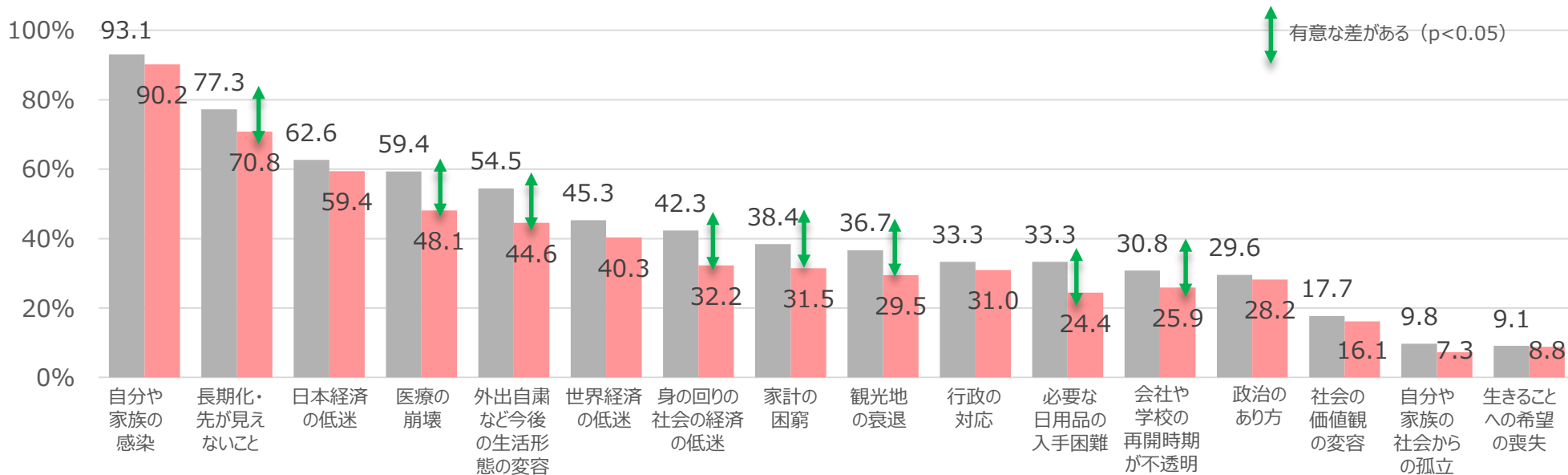
\*不安度を得点化し（1：とても不安を感じている、2：やや不安を感じている、3：どちらでもない 4：あまり不安を感じていない、5：全く不安を感じていない）、検定を行った。

※ここでは、「新型コロナウイルスの影響により国内宿泊旅行を中止・延期を決定または検討している」と「いまのところ実施予定」のいずれか1つを選択した回答者を分析対象とした（重複回答は対象外）。

# 「医療崩壊」「身の回りの経済の低迷」への不安 4～6月の旅行予定に影響

- 4～6月の国内宿泊観光旅行の実施予定と中止・延期の間で具体的な不安内容の差を確認したところ、統計的に有意差のある項目が複数みられました ( $p < 0.05$ )。
- “中止・延期した層”のほうが、「医療の崩壊」「今後の生活形態の変容」「身の回りの社会経済の低迷」「家計の困窮」「必要な日用品の入手困難」「会社や学校の再開時期が不透明」などの身の回りの環境に対する不安を挙げています。

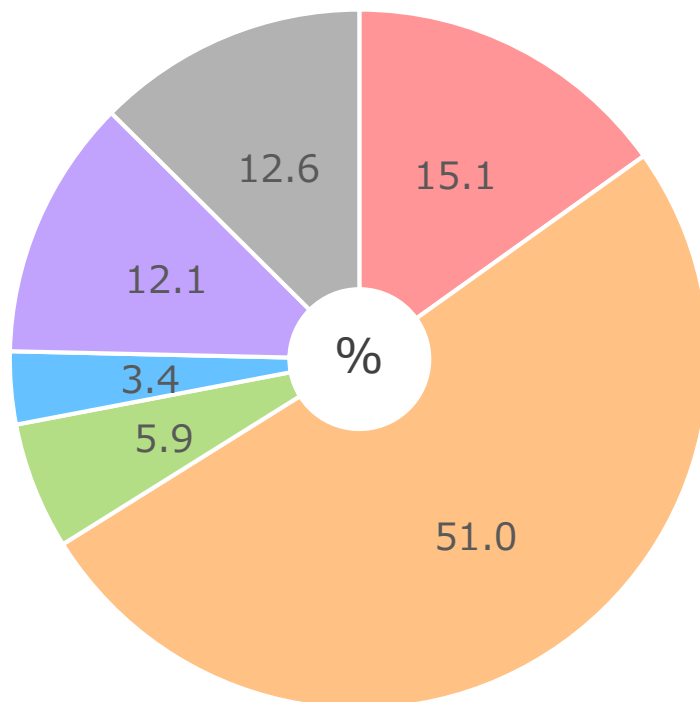
4～6月の国内宿泊観光旅行の予定状況別にみた不安の内容（不安を感じている人のみ）【複数回答】



## 新型コロナウイルス収束後の旅行意向 約7割が前向き

- 新型コロナウイルス収束後の旅行意向は、15.1%が「これまで以上に旅行に行きたい」、51.0%が「これまでと同程度、旅行に行きたい」と回答しました。
- その一方で、「これまでのようには旅行に行きたくない」という回答が5.9%ありました。
- 12.6%の「わからない」という回答者は、今後の情勢をみながら慎重に判断する層だと考えられます。

Q. 新型コロナウイルスが収束したら、旅行に行きたいですか。



■ これまで以上に旅行に行きたい

■ これまでと同程度、旅行に行きたい

P13-16の  
分析対象

■ これまでのようには旅行に行きたくない (旅行頻度、回数を減らしたい)

■ 全く旅行に行きたくない

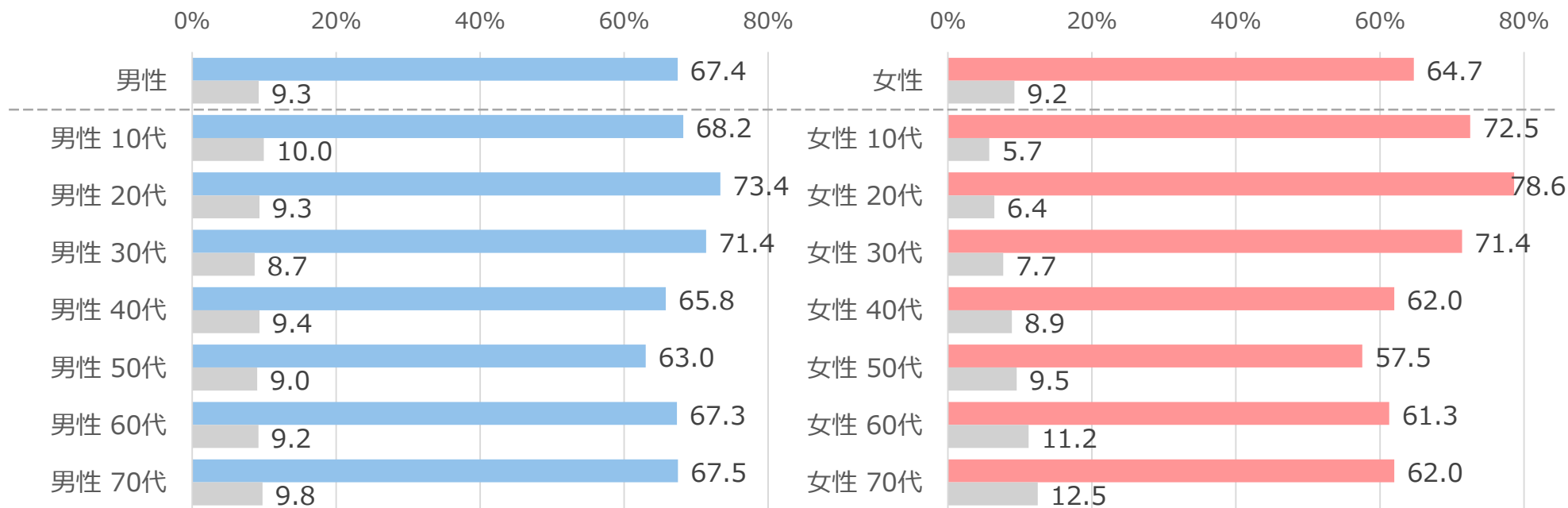
■ 新型コロナウイルスが流行する以前も、あまり旅行はしていない

■ わからない

## コロナ収束後の旅行意向 20~30代が積極的

- 新型コロナウイルス収束後の旅行意向を性・年代別にみると、男性20~30代、女性10~30代の7割以上が「旅行に行きたい」と回答、旅行に前向きな意向を示しています。
- 一方、60以上の女性の1割強が「旅行に行きたくない」と回答、コロナ禍の影響を経て旅行に消極的になった割合が他年代に比べてやや高くなっています。
- 女性は年代があがるにつれて、「旅行に行きたくない」と回答する割合が高まりました。

### 新型コロナウイルス収束後の旅行意向（性・年代別）



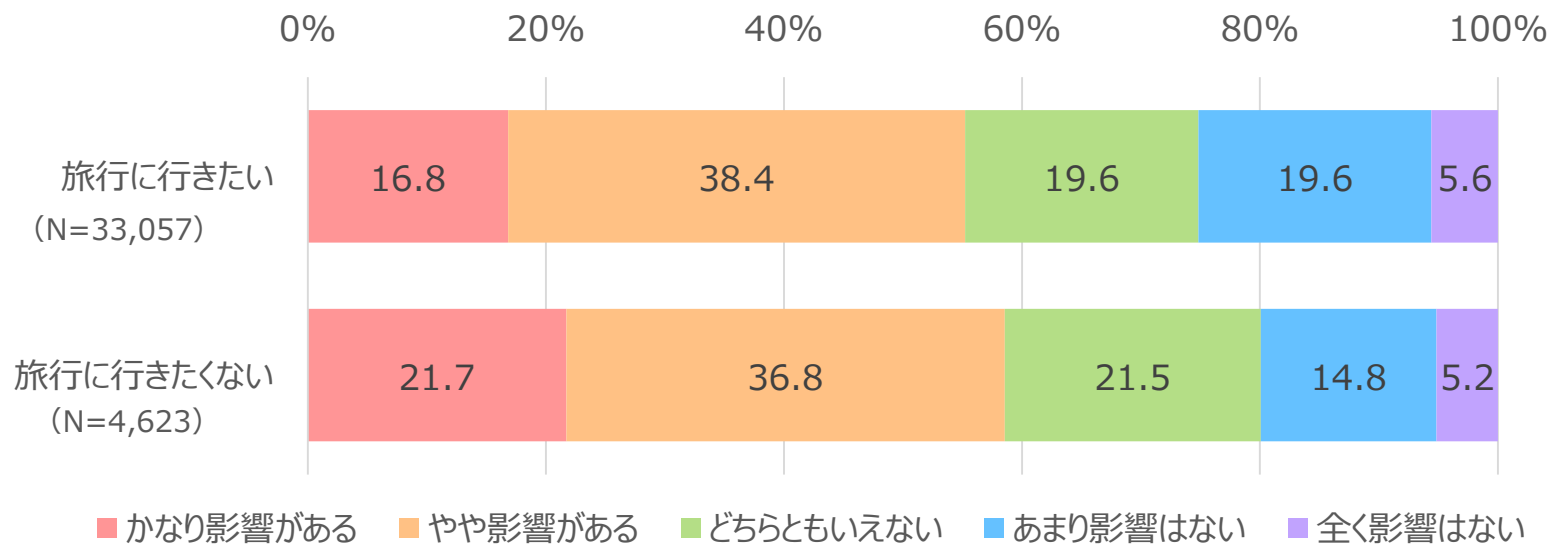
■ 旅行に行きたい  
(これまで以上に旅行に行きたい  
 +これまでと同程度旅行に行きたい)

■ 旅行に行きたくない  
(これまでのようには旅行に行きたくない  
 +全く旅行に行きたくない)

## 新型コロナ収束後「旅行に行きたくない」 家計への影響度大

- 新型コロナウイルス収束後の旅行意向とコロナ禍の家計に対する影響度を比較したところ、統計的に有意な差がみられました (\* $p < 0.05$ )。
- このことから、収束後の旅行意向に家計の状況が影響していることがわかります。

収束後の旅行意向別にみた  
新型コロナウイルスに対する家計への影響度

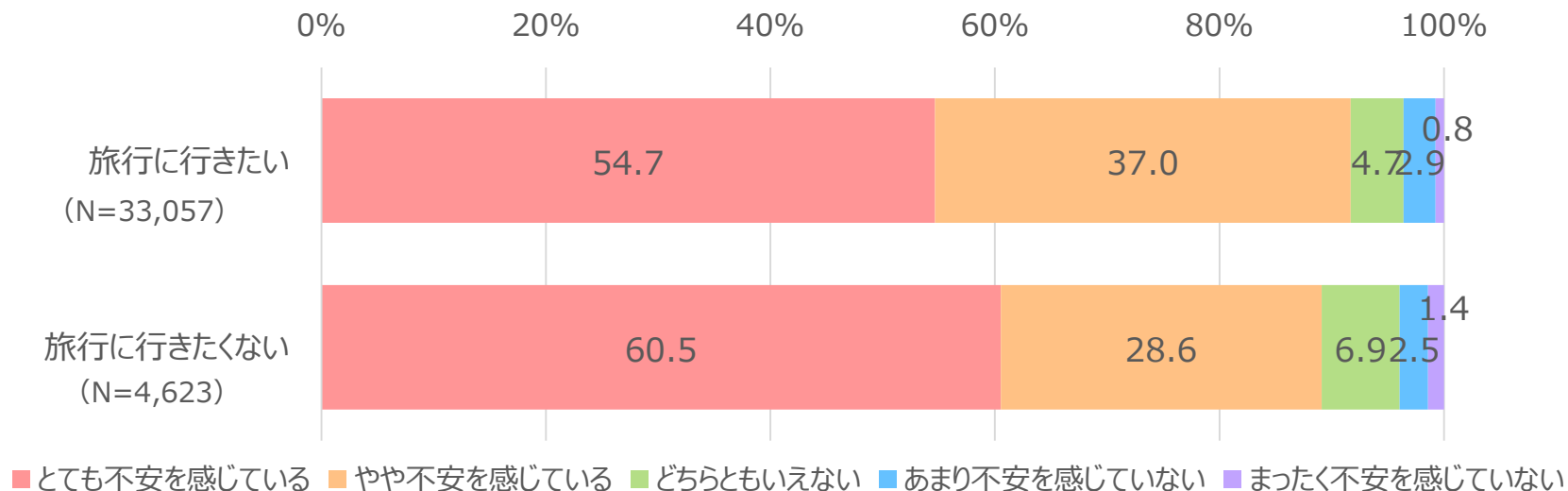


\*家計への影響度を得点化し (1: かなり影響がある、2: やや影響がある、3: どちらでもない 4: あまり影響はない、5: 全く影響はない)、検定を行った。

## 収束後の旅行意向に不安度は影響せず

- 新型コロナウイルス収束後の旅行意向と不安度を比較すると、統計的に有意な差はみられませんでした (\* $p>0.05$ )。

収束後の旅行意向別にみた  
新型コロナウイルスに対する不安度

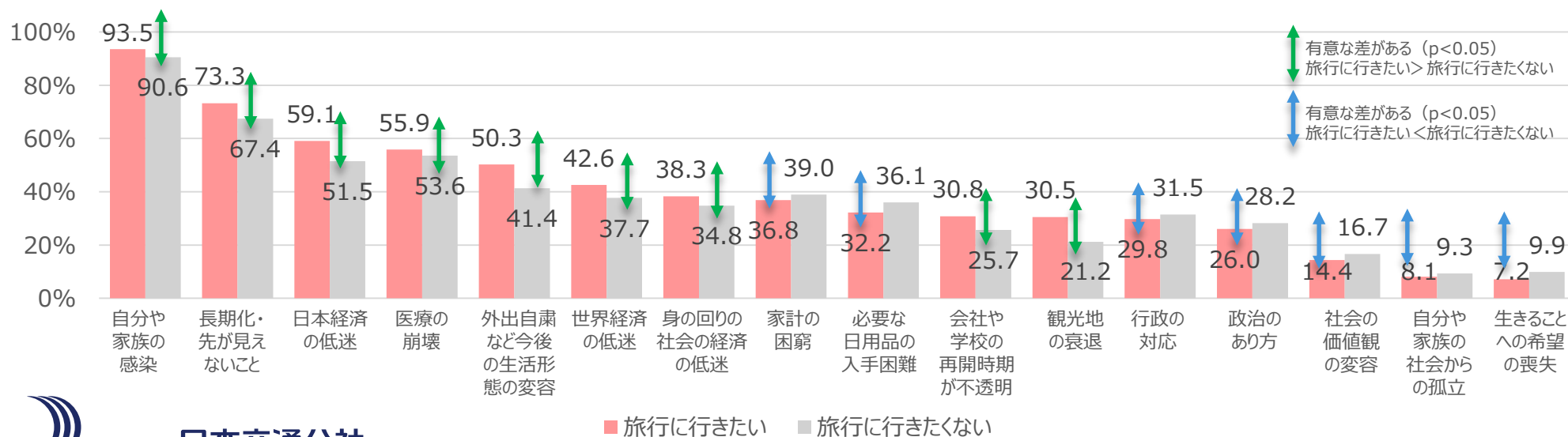


\*不安度を得点化し (1 : とても不安を感じている、2 : やや不安を感じている、3 : どちらでもない 4 : あまり不安を感じていない、5 : 全く不安を感じていない)、検定を行った。

## 具体的な不安を意識しつつも旅行に行きたい

- 不安の有無と旅行意向には有意差がありませんでしたが、具体的な不安内容はそれぞれ有意差が認められました。
- 「自分や家族の感染」「長期化・先が見えないこと」「日本経済の低迷」「医療の崩壊」「外出自粛など今後の生活形態の変容」「世界経済の低迷」「身の回りの社会の経済の低迷」「会社や学校の再開時期が不透明」「観光地の衰退」においては、“旅行に行きたい層”のほうが不安を抱えています。“旅行に行きたい層”も多くの不安を挙げていることから、これらの不安は意識しつつも、旅行意向を妨げる要因にはなっていないということがわかります。
- 一方で、「家計の困窮」「必要な日用品の入手困難」「行政の対応」「政治のあり方」「社会の価値観の変容」「自分や家族の社会からの孤立」「生きることへの希望の喪失」では、“旅行に行きたくない層”のほうが不安を挙げています。

収束後の旅行意向別にみた不安の内容（不安を感じている人のみ）【複数回答】





## 新型コロナウイルス感染症流行下の日本人旅行者の動向（その3）

～ JTBF旅行実態調査結果より ～

**2020年6月22日発行**

**公益財団法人日本交通公社**

**観光地域研究部 市場調査チーム**

五木田 玲子 / 伊豆 菜津美 / 仲 七重 / 安原 有紗 / 中島 泰 / 寺崎 竜雄

- 本資料は著作物であり著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い引用する際は必ず出所を明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する場合は著作権者の許諾が必要です。下記お問合せ先までご連絡ください。

公益財団法人日本交通公社 観光文化情報センター

電話番号：03-5770-8360

Website：<https://www.jtb.or.jp/>